

【事業名】 固体酸化物型燃料電池と太陽光発電装置導入に伴う 遠隔建物群を含めたエネルギーの面的利用システム

■ 事業概要

主な事業者	大成建設株式会社、横浜市
事業地	神奈川県横浜市戸塚区
施設名称	大成建設技術センター
延床（施工）面積	約25,345m ² （施設全体面積）
主に利用する再・未利用エネルギー	太陽光発電、燃料電池の排熱利用
主な導入設備	固体酸化物型燃料電池（SOFC）250kW×1台 マイクロコージェネ：75kW×3台 エネルギーマネジメントシステム（AEMS）
事業期間 （稼働予定）	2016年9月～2017年3月 （2018年4月稼働予定）
省エネ効果見込	省エネ量：29kL/年、省エネ率：65.1%

■ 事業の特徴

- SOFCの建築物に対する最適運用技術を構築する。
- 負荷特性の異なる複数建物のエネルギー最適化をAEMSにて一括管理する。
- 変動電源である再エネを有効活用するために、計画地内余剰電力を遠隔地に対して電力自己託送を行う。

■ 導入効果

- 常時発電と変動電源の組合せにより、電力自己託送も含め、エネルギーの面的利用技術を構築する。
- 複数建物間で温水のエネルギー融通を図ることで、従来方式と比較しCO₂削減70%を見込む。

